

業界団体との意見交換を踏まえた 令和5年度の取組み成果を公表します！

鉄道・運輸機構(JR TT)では、受注者との連携・協働をより良いものにし、双方が効率的に業務を遂行できるように具体策を持って取組むことで、事業の円滑な推進に繋げられるよう、例年、業界団体との意見交換会を実施しております。
今回、下記のとおり取り組んだ成果を取りまとめ、公表します。

<令和5年度意見交換会実施状況>

日時	業界団体名称
令和5年11月17日(金)	建設コンサルタンツ協会
令和5年11月30日(木)	日本建設業連合会
令和6年2月27日(火)	プレストレスト・コンクリート建設業協会

※上記の他にも、担当者間における意見交換を精力的に実施するとともに、JR TTの地方機関においても業界団体支部との意見交換会を実施しております。



令和6年2月27日 プレストレスト・コンクリート建設業協会との意見交換会

<本件に関するお問合せ先>
建設企画部 技術企画・安全推進課
担当：河村、高原
TEL 045-222-9063



~JR TTは設立20周年を迎えました~

＜主な取組み成果＞

意見交換を踏まえた令和 5 年度の主な成果は下記のとおりです。今後も引き続き、各種取組みを進めてまいります。

① 建設業の担い手確保に資する入札・契約制度の推進

・令和 5 年度契約の新幹線本体工事 9 件すべてについて、週休 2 日制モデル工事(発注者指定方式)、建設キャリアアップシステム義務化モデル工事、労務費見積り尊重宣言促進モデル工事を適用しました。

・令和 5 年度契約のその他工事については以下のとおりです。

週休 2 日制モデル工事(発注者指定方式) …… 2 件

週休 2 日制モデル工事(受注者希望方式) …… 4 件

建設キャリアアップシステム推奨モデル工事 …… 1 件

労務費見積り尊重宣言促進モデル工事 …… 4 件

(契約件数は令和 6 年 2 月末時点)

② 適正な工期の確保、工期の平準化に資する入札・契約制度等の導入、改善

・余裕期間制度の試行を開始しました。(別紙1)

・工期設定の要素として、WBGT 値 31 以上の日数を「天候等による作業不能日」に追加しました。(別紙2)

③ 業務効率化、ICTの推進

・「ウィークリースタンス実施要領」及び「ワンデーレスポンス実施要領」を制定しました。(別紙3)

・「土木工事設計図書の照査ガイドライン」を制定しました。(別紙4)

・遠隔臨場の適用を更に拡大しました。

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)工事において、R4 年度末時点では 10 工区での実施でしたが、現在[※]では、24 工区で実施しています。

(※令和 6 年 1 月末時点)

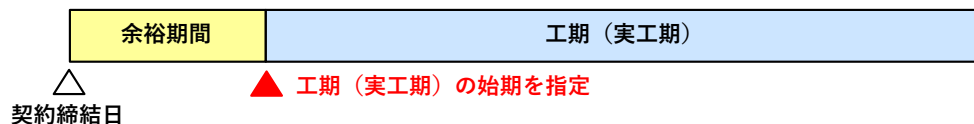
■「余裕期間制度」の試行を開始しました。(令和5年7月20日付)

○柔軟な工期の設定等を通じて、受注者が建設資材や建設労働者等を確保できるようにすることで、**受注者側の観点から平準化を図ることができる**と考えています。

○余裕期間は以下の3方式を活用します。

- ①発注者指定方式
- ②任意着手方式
- ③フレックス方式

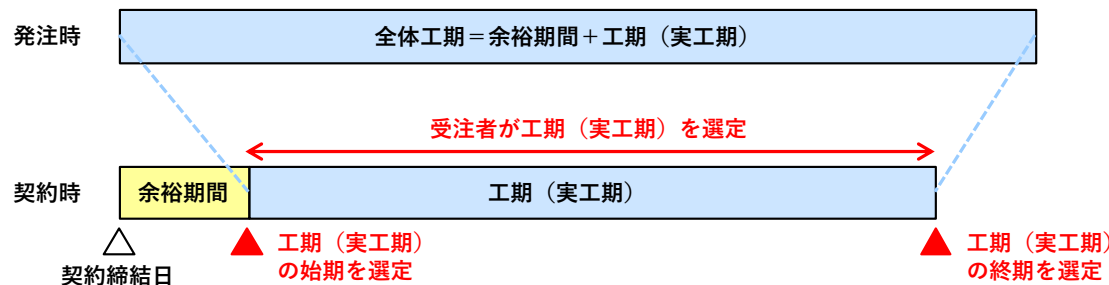
① 発注者指定方式：余裕期間内で工期の始期を発注者があらかじめ指定する方式



② 任意着手方式：受注者が工期の始期を余裕期間内で選択できる方式



③ フレックス方式：受注者が工期の始期と終期を全体工期内で選択できる方式



■ 工期設定の要素に熱中症防止に伴う作業不能日を追加しました。

○令和5年度から、**WBGT値31以上の日数を「天候等による作業不能日」に追加**

◆これまで・・・

・工期の中に、休日、地元協議等で決定された**作業不能日**とあわせて**天候等による作業不能日**

として、**1日の降雨・降雪量が10mm/日**の日を考慮

◆これから・・・

・天候等による作業不能日に**WBGT値31以上の日**を追加

⇒ 屋外作業が危険な**猛暑日**は**作業不能日として工期に適切に反映**

※**WBGT値**：湿球黒球湿度、いわゆる**暑さ指数**。湿度や気温などから算出⇒**熱中症予防**を目的とした指数

※**WBGT31以上**：**熱中症警戒アラート**で最上位の「**危険**」⇒運動は原則禁止

■「ウィークリースタンス実施要領」および「ワンデーレスポンス実施要領」を策定しました。

(令和5年10月23日付)

○受発注者ともに取組み、円滑かつ効率的・効果的に業務を進めていきたいと考えております。

ウィークリースタンス

※**朱書き**は原則実施事項

- ① **休日明け日（月曜日等）を依頼の期限としない**
- ② **休前日（金曜日等）には新たな依頼をしない**
- ③ **昼休みや午後5時以降の打合せをしない**
- ④ **作業内容に見合った作業時間を確保する**
- ⑤ ノー残業デーは定時の帰宅ができるよう配慮する
- ⑥ 休前日（金曜日等）も定時の帰宅を心掛ける
- ⑦ その他、任意で設定する取組み
(受発注者で合意した事項)



業務環境の改善により
業務の円滑な実施と品質向上

ワンデーレスポンス

基本は「**即日対応**」

- ・相手方への回答は、基本的に「**その日のうちに**」
- ・即日回答が困難な場合、いつまでに回答が必要なのかを確認のうえ、「回答期限」を予告するなど次の段取りができるような回答を「**その日のうちに**」



課題への迅速な対応により
効率的及び効果的な事業執行

■「土木工事設計図書の照査ガイドライン」を制定しました。（令和5年6月23日付）

- 従前は、受注者に義務付けられている「設計図書の照査」について、発注者と受注者の責任範囲が具体的に明示されていませんでしたが、「土木工事設計図書の照査ガイドライン」において、「設計図書の照査」における基本的な考え方や範囲をできる限り明示し、円滑な事業執行に資するものと考えています。

